

諫高同窓会々報

長崎県立諫早高等学校
同窓会事務局
TEL 22-1222・FAX 22-5104
http://www.news.ed.jp/isahaya-h/
編集 集 二
塚 原 伸
印刷所 諫早印刷株式会社
TEL 22-1350

同窓会長就任のご挨拶



同窓会長 小林 靖明
(高校二十六年・昭和四十九年卒)

同窓会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より同窓会活動に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。令和五年七月一日に開催されました同窓会総会において、池田光利会長がご勇退されることに伴い、

会長職の大役を引き継ぐことになりました。これまで歴代会長が築きあげてこられた伝統と歴史を大切に、同窓生にとっても、また母校にとりましても同窓会が必要不可欠な存在となりますよう、同窓会の発展に貢献できましたならばと思っておりますので、何卒よろしくお願いたします。

さて、母校を巣立ち、各界でご活躍される逸材は枚挙にいとまがありません。このような中において、令和五年七月、本校第三十七回生の垣根涼介さんが第一六九回直木賞の栄冠を手に入れました。これは、とても誇らしく在校生にとりましても大きな励みとなりましたこととさせていただきます。また年末に開催された陸上部女子が、一時間二十一分四秒の記録で全国十二位の成績でした。感謝を胸にチーム一丸となつて最後まで諦めることなく全力で走りきりました。物心両面にわたる

同窓会長退任のご挨拶



同窓会前会長 池田 光利
(高校二十回・昭和四十三年卒)

同窓会の皆様には、お元気で益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。私は、昨年七月一日の同窓会総会において、同窓会長を退任させていただきました。

平成二十五年七月の総会において、十一年間会長を務められた森長之会長より、会長のタスキを引き継ぎ十年が経過して引退を希望されました。同窓会活動が在校生、卒業生にとりましても、母校を想いぐるみで活躍する人づくりの一助となれますよう努めてまいりたいと存じます。

最後になりましたが、皆様のお支えのおかげで、心よりお祈りいたします。そして同窓会活動への変わりぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

同窓会総会・懇親会の報告

令和五年七月一日(出)、ホテルグランドパレス諫早において、令和五年同窓会総会ならびに懇親会が四年ぶりに開催されました。

校にも大いなる発展が期待されています。次期会長としてタスキを引継いでくれた小林靖明会長の「諫高同窓会の目的である、会員相互の親睦を図りあわせて母校の発展に資すること」に向かっけると思っています。

「人の役に立つ学び」を大切に



校長 堤 敏博

同窓会員の皆様には、平素より本校の教育活動にご支援とご協力を賜り、同窓会で整備いただいた御書院の池や、体育館等に設置いただいたWi-Fi環境など、他校にはない素晴らしい教育環境で活動できることに對して、生徒ならびに教職員一同、大変感謝しております。

さて、本校の近況について報告させていただきます。令和五年四月現在までの生徒数は高校全日制一八八名、高校定時制三十九名、附属中学校三六一名、合計二一八名で、日々、子どもたち

は、本校の校訓である「自立創造」に込められた想い、高い志をもって自分の人生を自分自身で切り拓くことを胸に抱き、学習や部活動、生徒会活動などに一生懸命取り組んでいます。この三年間で部活動の大会や学校行事なども、中止、延期、規模の縮小を余儀なくされてきましたが、今年度に入り通常に戻りつつあります。ただ、通常といいつつもコロナ禍前とのまま戻すのではなく、この期間に学んだことを生かし、改善を加えながら教育活動を実践しております。

進路面では、令和五年三月の卒業生は、東京大学、京都大学などの難関大学合格をはじめ、すばらしい進路実績を残してくれました。特に、九州大学二十八名合格(現役のみ)、県内公立高校一位、国立大学医学部医学科十一名合格(現浪合計)、見事でした。また、部活動においても、令和五年四月以降で、高校全日制においては、フエンス部、レスリング部、放送部がNHK杯全日本高校放送コンテストナウンス部門第一位、全国高校総合文化祭アノウンス部門第一位の二冠獲得、他にも、テニス部男女、水泳部、吹奏楽部、コーラス部などが九州大会出場や県大会上位進出を果たし、附属中学校も、テニス部男子が九州大会に出場するなど活躍をしております。

多大な心温まるご支援、ご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。三年余りにわたり、新型コロナウイルス感染症の影響を受け同窓会活動も自粛せざるを得ませんでした。少しづつ平常をとり戻しはじめ、令和五年度の同窓会総会が諫早で開催されたのを皮切りに、東京、不知火、長崎と各支部での総会、同窓会が開催されました。

現在普通存在しているものが、三十年前には存在しなかったものばかりです。このように世の中も変化しています。さらには、この数年にわたつた新型コロナウイルス感染症の流行は、私たちの意識や行動に更なる大きな影響と変化をもたらし、社会の急激な変化が拍車をかける要因にもなっています。

以前、ある講演会で次のような話を聞いたことがあります。「戦前」「戦後の時代」と名付けられた戦後は「経済の時代」であり、バブルの崩壊を経て、現在は「文化の時代」へと移行が変わつていきました。

「コロナ禍の時代」は、「急激に社会が変化し、人間の考え方も大きく変化した時代」として、今後長い間語り継がれていくことと思います。このあたり経験はしたくない重要な経験を私たちが、これまでの考え方に「持続可能な社会」を構築させていくために、今、自分自身は何をすべきなのかを自分自身で考え、行動に移していく責務があると考へています。

関東支部総会

第六十九回東京不知火会総会・懇親会は、例年どおり六月第三土曜日の六月十七日に東京上野にて開催しました。

コロナ禍で、開催を三回見送っていたこともあり参加者が集まらないのではないかと危惧していましたが予想に反して多数の方々に出席いただくことができました。

古賀賢治会長(二十三回生)挨拶、玉山三重子常任幹事(二十二回生)から会計報告・乾杯



「黒おこし」や諫早自慢の日本酒「杵の川」を差し入れていただき堪能しました。恒例の校歌斉唱を野球部出身の野田誠さん(二十九回生)のリードで大合唱し閉会となりました。

常任幹事 香田誠朗(三十七回生)

関西支部総会

関西支部はコロナ禍の二〇二〇年、支部発足六十年に当たり記念誌を発行しました。同窓会長、諫早市長、校長、恩師、長崎・福岡圏・中部支部長、関西支部の同窓、合わせて四十六名から寄稿して頂き、諫早の懐かしい風景や母校の様子の写真も掲載しました。

昨年は是非開催しようと、真崎支部長を中心に準備を進めましたが、真崎さんの病気が悪化し、総会の日を待たずに亡くなられたことは、大変悲しく残念でなりません。四年ぶりに総会を、昨年十一月五日に開催しました。



「あるかんば隊」も鋭意再開します。古川徳三(二十三回卒)

中京支部総会

久しぶりの中京支部総会ならびに懇親会を九月三十日土曜日に開催しました。今回は名古屋から離れて、三重県四日市市にあります四日市シティホテルを会場にしました。

久しぶりの中京支部総会ならびに懇親会を九月三十日土曜日に開催しました。今回は名古屋から離れて、三重県四日市市にあります四日市シティホテルを会場にしました。



無料サイトをつくったので広告が入りますが、訪問お待ちしております。

長崎支部総会

コロナ禍で、自粛していた長崎支部の活動を、ようやく再開し、新年一月十八日、四年ぶりに、恒例の「支部新年会」を開催した。

長崎支部は、二〇二三年(令和五年)七月二十九日、堤校長、小林新会長、池田前会長、塚原事務局長の御来賓を得て、会員九十名の参加により、四年ぶりとなる総会を福岡市内のホテルクリオコート博多にて開催しました。



福岡圏支部総会

福岡圏支部は、二〇二三年(令和五年)七月二十九日、堤校長、小林新会長、池田前会長、塚原事務局長の御来賓を得て、会員九十名の参加により、四年ぶりとなる総会を福岡市内のホテルクリオコート博多にて開催しました。

総会の数日前に、諫高出身の垣根涼介さんが「極楽征夷大将軍」で直木賞を受賞したという朗報もありました。



諫早高等学校同窓会福岡圏支部

2023.7.29 ホテルクリオコート博多